

## 平成 29 年 10 月 29 日（日）総合的病院誘致説明会の質疑応答（概要）

Q 1. 沼間コミュニティセンターの前は、片側一車線のみであるが、二車線は必要ではないか。また、病院建設予定地はコミュニティセンター利用者の臨時的駐車場としても使われているが、今後はどうなるのか。

A 1. （市長）アーデンヒル入口交差点を曲がった市道について、複線化する予定はありません。現状でも、病院が出来た後の交通渋滞は起こらないという想定です。

コミュニティセンター利用者の駐車場として、一部病院予定地が使用されているという状況は承知していますので、葵会の駐車場に停めても支障がないということになるかと思えます。

Q 2. 救急は 24 時間 365 日なのか。ICUはどこにあるのか。

A 2. （市長）24 時間 365 日救急を実施することは、公募条件としては課していません。二次救急輪番制に入ることを最低条件とし、なおかつ病院の努力で、24 時間 365 日実施するというのであれば、高く評価をするという審査をしてきました。葵会からは、医師の体制等が整えば、24 時間 365 日実施する体制をつくっていきたいという積極的なご提案をいただきましたので、大変前向きに取り組んでいただいていると期待をしているところです。

（葵会）地域医療支援病院の資格を取得する際に、集中治療室は必須となっているので、設置することを考えています。具体的に記載してはいませんが、一般病床の個室の中に、リハビリ室という形で設置しようと思っています。

Q 3. 土地を無償貸与するのであれば、毎年葵会の財務計画を議会や市民に公表するべきではないか。

A 3. （葵会）財務状況については、毎年行政へ報告することが義務付けられていますので、オープンになると思えます。

Q 4. シャトルバスを導入する場合は、発着の起点はどこになるのか。

A 4. （市長）まずは、シャトルバスではなく、路線バスを導入することを検討しています。想定では、逗子駅前から来ている路線バスが、病院を経由していくということになるかと思えます。

Q 5. 300 床のうち、一般病床の割合などについて取り決めはしているのか。

A 5. （市長）現在配分されている 109 床のうち、一般病床は 24 床です。残りの病床については、県の保健医療計画次第であるので目途が立っているわけではありません。

11 月に取り交わす覚書は、基本的な公募の条件等々を踏まえて、これから逗子市と葵

会でしっかりと信頼関係を持って、病院の計画を進めていきたいと思いますという意思確認であるとご理解ください。

今後、増床の目途が立った場合には、診療機能や救急の体制などについて、協定書を締結し、具体的な建築の手続きに進むという流れになりますので、その際に市民の皆さんへご説明したいと思っています。

**Q 6. 新病院は介護施設などを展開していく予定はあるのか。**

A 6. (葵会) 逗子市で展開するのは病院のみの予定です。その他施設とは、連携を図っていきたいと思っています。

**Q 7. 診療科目について、逗子市に足りない診療機能を、市は葵会へ積極的に提案してほしい。**

A 7. (市長) 診療科目については、現段階の案ですので、地域の医療ニーズに合わせて、適宜対応していただけたらと思っています。

**Q 8. 災害時の停電対策、ヘリコプターの離着陸、廊下の幅の広さはどうなっているのか。**

A 8. (川口建築士) 自家用の発電機を設置しますが、何日分確保するかということは供給側とも相談しなければならないのでまだ分かりません。

廊下の幅については、他の葵会の病院と比べても、幅を広く取っています。病室についても、4床室は8平米、個室については12平米の広さを取っているので、融通をきかせて利用できるように検討しています。

(市長) ヘリコプターについては、病院の屋上に離着陸させるということは無理だと思います。基本的に、逗子でヘリコプターが着陸できるのは第一運動公園、ドクターヘリは沼間中学校のグラウンドに着陸できるようになっています。災害の状況、ヘリコプターの大きさや機能によって、場所はすでに防災計画上位位置付けられているので、この病院に降りなくても、十分緊急の体制はつくられていると考えています。

**Q 9. 紹介制は事務局側の考えで、病院の医師はその後自分の患者として診たいと考えるのではないか。**

A 9. (葵会) 厚生労働省の方針では、開業医から紹介された患者さんについて、急性期が過ぎれば、またもとの開業医へ逆紹介することになっています。

**Q10. 地域連携機能等検討会の会議概要を読んだが、用地の無償貸与など、会議の本題とは関係ない話に時間を費やしている。メンバーには謝礼を支払っているのか。**

A10. (市長) 地域連携機能等検討会は、病診連携、介護連携などについて、関係する医師会、歯科医師会等の代表者の方に議論していただく場です。

しかし、過去の会議の中で、それぞれの認識に多少ばらつきがあり、議論が拡散するという状況があるということは承知しており、その辺りは学識のアドバイザーにご指摘いただきながら、目的に対応した議論を進めていただけるものと思っております。

謝礼については、学識アドバイザーの3名のみお支払しており、その他のメンバーの方々にはボランティアで検討会に出席いただいています。

**Q11. 土地を無償貸与するのだから、差額ベッド代の割合は、地方公共団体が開設する病院並みの30%以内にするべきではないか。**

A11. (市長) 差額ベッド代の設定の仕方については、葬会もまだ決定していないと承知しております。今後、病院の計画を詳細に詰めていく段階で、経営計画も踏まえて設定されると思います。市としては、できるだけ市民の負担が軽減されるようお願いする立場ですので、協議の中で詰めていきたいと考えています。

**Q12. かつて聖テレジア会が進出してきた際には、首都圏近郊緑地保全法に準じた緑化協定を順守するという項目があったが、今回は緑化についての図面が示されていない。**

A12. (市長) 現在の建築計画はまだ案の段階であります。いろいろな場所に樹木を設置していただくなど、かなり配慮していただけていると思います。詳細な建築計画を決めていく段階では、もう少し具体的にお示しできるようにしたいと考えています。

**Q13. 渋滞の解消については、以前もシミュレーションをして、市民に交差点改良の図面まで示したが、今回は全く示されていない。**

A13. (市長) 道路環境については、県警本部へ事前協議を行っており、交通上の支障がないように、指導を受けながら、設計している途中です。今日の時点では、交差点の設計をお示しする段階には至っていませんが、6月に実施した交通量調査の解析データ等の報告書はありますので、ご覧いただけます。

確かに、横須賀から逗子へ向かう車の渋滞は多く、結局は県道が片側一車線なので、東逗子駅入口と逗子警察周辺交差点の右折と直進でどうしても詰まってしまいます。そこが解決されない限りは、渋滞は解消されないと思います。

ただ、病院へ向かう車はそれほど交通量が多いわけではないので、病院ができたとしても、交通渋滞による影響は予測されないという結果になりました。県道が改良されれば、渋滞はかなり解消されると思いますが、それには相当時間がかかる話ですので、そのようなことを踏まえたうえで、交差点の設計を今年度中に実施し、皆さんにご説明できるようにしたいと思います。

**Q14. 横浜南共済病院の重点的関連病院という記載はなぜなくなったのか。**

A14. (葬会) 前回の説明会で、重点的関連病院という言い方をすると、葬会と横浜南共

済病院の間で特別な約束を結んで、逗子の患者が特別扱いされるように聞こえるというご意見がありましたので、誤解を招くような言葉は使わないようにしました。しかし、形が変わったわけではなく、横浜南共済病院が一番近い三次救急を持った急性期病院ですので、病病連携をしっかりと行っていきたいというお話は、相手方としています。

**Q15. 葉山ハートセンターに行ったところ、難聴者への配慮が十分なされており、理想的だと感じた。葵会にもぜひそういった対応をお願いしたい。**

A15. (葵会) 十分参考にさせていただきます。

**Q16. 子どもの病気はすぐ重症化することが多く、小児科を設置するのであれば、一次救急レベルだけでなく、二次救急レベルの症状にも対応していただきたい。お産についても、緊急時に搬送先の病院で対応ができれば、生まれてくるお子さんが助かったという例もあると思うので、産科はぜひ設置していただきたい。**

A16. (市長) 小児科があると、子育て世代も安心して、ここで住み続けられるということなので、小児科はもちろん設けていただきます。ただ、救急体制については、小児科医の確保が全国的に難しいということで、そろい次第拡充していただけるよう進めています。

産科について、緊急時のトラブルへの対応やNICUの設置などは、300床クラスの病院では難しいと考えます。従って、横須賀・三浦半島の医療圏でしっかりと体制を整え、通常分娩については現在ある市内の医療機関で賄っていただき、病院では婦人科として、乳がん・子宮頸がん等の検診を担っていただくなど、役割分担をしていくことが現実的な対応と考えています。

周産期の高度な案件については、医療圏内で医療資源を集約し、横須賀共済病院やうわまち病院などと、病病連携の体制を構築していただくことで対応したいと思っています。

**Q17. 院内保育園は、病院の職員専用なのか。病児保育を外部から受け入れる予定はあるか。**

A17. (葵会) 院内保育園は、職員専用です。病児保育についても、いまのところ考えていません。

**Q18. 国際化への対応はどのくらい行うのか。院内表示の多言語化や、外国語対応ができる職員を配置するのか。**

A18. (葵会) 院内表示については、英語・中国語などでの記載を検討しています。外国語対応ができる職員については、機会を捉えて雇用したいと思っておりますが、今後の検討課題とさせていただきます。